

宮城県仙南保健所では、仙南地域で働く皆さんの健康づくりを応援しています。この通信に、皆さんにより健康に・活き活きと活躍してもらいたいという思いを込めて、健康づくりに関する情報を中心にお届けします。

皆さんのお役に立てる情報誌を目指しておりますので、皆さんからのご意見・ご感想・仙南地域の働く方向けお役立ち情報をお待ちしております。

仙南管内から
2団体が受賞!

宮城県健康づくり優良団体等表彰～スマートみやぎ健民表彰～が行われました

角田市が「スマートみやぎ健民大賞」を、 白石商工会議所が「スマートみやぎ健民優良賞」を受賞しました!!

県では、県内のメタボリックシンドローム該当者の割合が全国ワーストレベルという危機的な状況からの脱却を目指すため、平成28年2月に村井知事を会長とする「スマートみやぎ健民会議」を設立し、健康づくりに関する取組の活性化を図るため、産学官連携による県民運動を推進しています。

このたび、初めての試みとして、健康づくりに関する取組を積極的に行っている県内の企業・市町村・地域団体を表彰する制度を創設し、2月23日（木）に宮城県健康づくり優良団体等の表彰式を行いました。

今回の表彰では、最も優れている団体に贈られる「スマートみやぎ健民大賞」を角田市が、「スマートみやぎ健民優良賞」を白石商工会議所が受賞しました。

スマートみやぎ健民大賞 角田市

早くから市民への健康ポイント制度を導入したことで、ウォーキング事業の参加者が3年間で約4倍となるなど市民一体となった取組を推進しています。出席した大友市長は「スマートで健康な市民を増やし、他市町村のモデルになりたい」と今後の取組への意欲を述べられました。

スマートみやぎ健民優良賞（地域団体部門） 白石商工会議所

地元の牛乳と温麺を活かした「減塩乳和食」の開発・普及を行い、飲食店や旅館業など多業種が会員である特性を活かした「地域振興」と「健康づくり」を併せ持つ取組を地域で推進しています。齋藤会頭からは「牛乳200mlに麺つゆ（3倍濃縮）大さじ1杯をつけダレに」と食べ方を紹介していただきました。



一番左が角田市 大友市長、一番右が白石商工会議所 齋藤会頭

◎詳細は宮城県健康推進課まで <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kensui/kanrishasemina.html>

スマートみやぎ健民会議会員 募集中!



宮城県はメタボリックシンドローム該当者及び予備群を合わせた割合が平成20年度から7年連続で全国ワースト3位以内、1日の歩数が男性は全国ワースト1位など健康課題が山積みです。

産官学一体となった健康づくりを積極的に推進するために設立された「スマートみやぎ健民会議」。現在、健康に関する取り組みを行っているところはもちろん、これから取り組みたいと考えている企業や団体等もぜひ、ご参加ください。一緒に健康づくりに取組みましょう!

スマートみやぎ健民会議会員事業所・団体

- アイリスオーヤマ株式会社
 - NPO 禁煙みやぎ
 - NPO 法人蔵王協働会
 - 角田まちづくり福祉ほっとの会
 - 学校法人朴沢学園仙台大学
 - 白石商工会議所
 - 柴田町商工会
 - 仙南栄養士会
- ※順不同、仙南地域のみ、行政は除く（H29.2.10現在）

◎登録、詳細は宮城県健康推進課まで <http://www.pref.miyagi.jp/site/sumart01/>

仙南地区地域・職域連携推進会議を開催しました！

(H29.1.30 大河原合同庁舎にて)

働き盛り世代を対象とした効果的な健康づくりの取組みを推進するため、地域保健と職域保健の担当者にお集まりいただき、会議を開催しました。

会議では、仙南地域の健康課題について情報を共有した後、各所属で把握している働き盛り世代の健康課題及び健康づくりに取り組む上での課題について意見交換しました。参加者の方からは、下記のような意見や課題が出されました。本会議で出された課題について、今後、地域と職域が連携して取組めることについて検討していきたいと考えています。また、事業所の健康管理担当者に向けた本情報誌の発行は 29 年度も継続していきます。当所職員による「健康づくり出前講座」と併せて従業員の皆さんの健康づくりにご活用ください。

職域保健から

被用者の健診受診率は高いが、**被扶養者（家族）の健診受診率が低いのが課題**。家族の健診機会の提供について地域と連携していけるとよい。

労働者の健診結果でも約**6割が有所見者**。有所見率の高い項目は**血中脂質、血圧、血糖**である。

小規模事業所では、健康管理まで意識が向いていないのが現状。他機関と連携して健診の啓発を進めていきたい。

社員の健診結果を栄養士と共有し、社員食堂の献立作成に活かしている。

社員の健診受診率は 100%。しかし、**二次健診の対象者は毎年同じ顔ぶれ**で、再検査を呼びかけても受診を拒否している。

地域保健から

働き盛り世代にアンケートを実施したところ、**若い男性に運動習慣がないことや、塩分摂取量が多い**ことが分かった。また、**メタボ該当者が多く、若い時から 10kg 以上の体重増加者が半数**であり、肥満対策が必要。

40～64 歳の脳血管疾患も多く、若い世代からの健康づくりが重要。職域と連携し、若い人の健康づくりに取組みたい。

事業所からの健康教育の依頼をきっかけに個別指導が実施できた。今後も地元企業との繋がりを大事にしていきたい。

健診後の保健指導を確実に実施することを積み重ね、保健指導の終了率を上げてきた。今後、家族や小規模事業所の方々の健診機会を持てるよう検討していきたい。

<会議参加者>

- ◆職域保健 大河原労働基準監督署・宮城労働基準協会大河原支部・仙南地域産業保健センター・全国健康保険協会宮城支部・白石商工会議所・柴田町商工会・株式会社五洋電子・株式会社ジェイエイ仙南サービス
- ◆地域保健：川崎町・丸森町

「働く人のスマートライフ通信」で取り上げて欲しい話題・ご意見ご感想などお待ちしております。

発行：宮城県仙南保健所 成人・高齢班 電話：0224-53-3120 FAX：0224-52-3678

電子メール：snthbsk@pref.miyagi.lg.jp

働き盛り世代の健康づくり HP もご活用ください↓↓↓～バックナンバーも公開中～

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sn-hohuku/kenkoudukuri.html>